

Renew!!
2019年 9月12日 大倉集古館リニューアルオープン!!



Copyright 2018 TANIGUCHI and Associates All right reserved

大倉集古館は2014年4月より増改築工事のため休館しておりましたが、5年半の工事期間を経て、2019年9月12日に一体的に建設を行っているオークラ東京と同時にリニューアルオープンいたします。国の登録有形文化財に指定されている建物の外観には手を加えず、新たに免震構造の地下階を増築してこれまでの事務・収蔵庫機能を移転する予定となっております。

大倉財閥創設者の大倉喜八郎が日本最初の私立美術館として1917年に創設した大倉集古館は、関東大震災による火災で甚大な被害を受け、伊東忠太博士の設計により展示館を再建、1928年に再開館しました。一昨年、創立百周年を迎え、歴史と伝統を継承しつつ、展示ケースも含む最新の設備と免震性能を備えた美術館として、さらなる文化的貢献に努めてまいります。

ARK Hills Music Week 2019

オークラウロと和の宴

Special Concert

大倉財閥の2代目で、ホテルオークラ創業者の大倉喜七郎が作った縦笛・オークラウロは、尺八とフルートのハイブリッドとして今再び注目を集めています。津軽三味線小山流三代目の小山豊氏との共演で、和の魅力満載の民謡から、ギターも交えたポップスまで、楽しいお話とともにお楽しみください!



小湊昭尚 (オークラウロ) 小山豊 (津軽三味線) 丸山力巨 (ギター)

|日時| 2019年10月6日(日) 14:30開演(受付は30分前)

|出演| 小湊昭尚(オークラウロ)、
小山豊(津軽三味線)、丸山力巨(ギター)

|場所| 大倉集古館B1F ホール

|料金| 2000円 *《桃源郷展》もご覧いただけます

|座席| 全席自由(定員に達し次第、締め切りとさせていただきます)

お申込み・お問合せ 大倉集古館 TEL03-5575-5711(代表)

《桃源郷展》開催記念特別講演会

呉春の写生画

— 蕪村の南画と
皮巻の写生画をめぐって—

Special Seminar

|日時| 2019年10月12日(土) 14:00~15:30(受付は30分前)

|講師| 冷泉為人氏(冷泉家25代当主、京都美術工芸大学学長)

|場所| 大倉集古館B1F ホール

|料金| 無料 *《桃源郷展》の入場券が必要です

|座席| 全席自由(定員に達し次第、締め切りとさせていただきます)

お申込み・お問合せ 大倉集古館 TEL03-5575-5711(代表)

れい ぜい たぬ ひと
冷泉為人 プロフィール

兵庫県加古郡稲美町出身。昭和19年3月2日生。関西学院大学大学院文学博士課程満期退学。文学修士号修得(関西学院大学、昭和45年)。芸術学博士号修得(関西学院大学、平成30年)。近世絵画専攻。冷泉家25代当主。冷泉家時雨亭文庫理事長。元大手前女子大学教授。元池坊短期大学学長。元同志社女子大学客員教授。元立命館大学特別招聘教授。現在京都美術工芸大学学長。

〈著書・単著〉

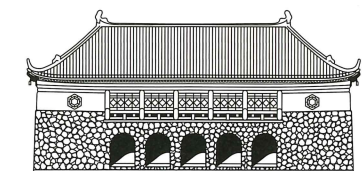
週刊アーティスト・ジャパン『円山応挙』。『五節供の楽しみ—七草・雛祭・端午・七夕・重陽—』。『冷泉家 蔵番ものがたり』。『円山応挙論』。この他編著、共著、論文など多数。

〈受賞〉

明石市文化功労賞受賞(平成10年)／京都府文化賞功労賞受賞(平成19年)／文部科学省大臣賞／文化財地域功労賞受賞(平成30年)



冷泉為人



OKURA MUSEUM OF ART

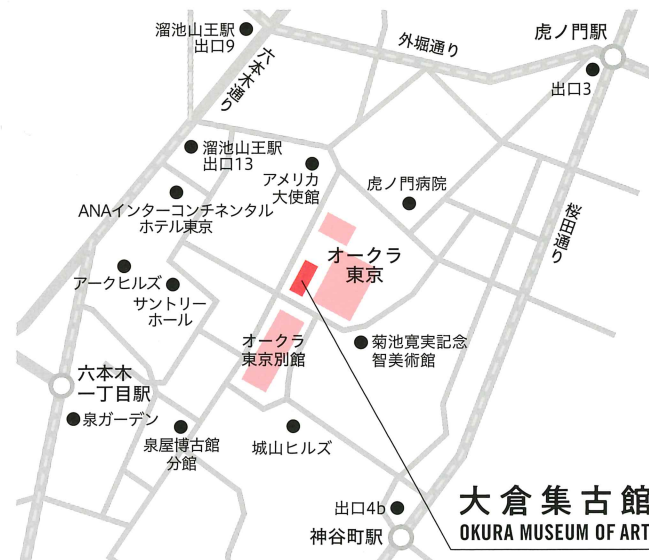
公益財団法人 大倉文化財団

大倉集古館

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3 (オークラ東京本館正面玄関前)
TEL 03-5575-5711(代表) ホームページ <http://www.shukokan.org>

|アクセス|

○東京メトロ南北線 六本木一丁目駅より徒歩5分 ○東京メトロ銀座線 溜池山王駅 出口9より徒歩10分
○東京メトロ日比谷線 神谷町駅 出口4bより徒歩7分 ○東京メトロ銀座線 虎ノ門駅 出口3より徒歩10分



初公開!

呉春、幻の屏風

展

— 蕪村・呉春が
夢見たもの —

大倉集古館
リニューアル
記念特別展

2019 9.12 木 - 11.17 日

| 開館時間 | 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

| 休館日 | 毎週月曜日(月曜祝日は開館し、翌火曜休館)*

| 入館料 | 一般 1300円 大学生・高校生 1000円*

*9月16日・23日、10月14日、11月4日は開館、9月17日・24日、10月15日、11月5日は休館
*各種ご優待料金についてはお問い合わせください。

同時開催「大倉集古館名品展」

大倉集古館
OKURA MUSEUM OF ART

主催:公益財団法人大倉文化財団・大倉集古館 協力:オークラ東京・特種東海製紙・大成建設

呉春《武陵桃源図屏風》(部分)6曲1双 江戸時代(18世紀) 大倉集古館蔵



蕪村から呉春へ、受け継がれる思い

本展では、新収品の呉春筆「武陵桃源図屏風」(江戸時代・18世紀)を本邦初公開し、本作品の創作の原点となった呉春の師・与謝蕪村の筆になる一連の桃源郷作品へのオマージュ、そして呉春自身の画業における本作品の位置づけに着目します。

これらに関連の深い作品の展観を通じて、蕪村が中国文化に向けた詩情や桃源郷への憧れが呉春に受け継がれ、やがて独自の様式の中に昇華される軌跡を辿ります。

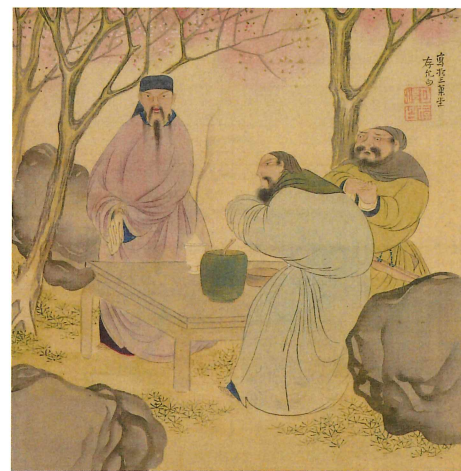


呉春

器用^{なる}成^{なる}おのこ



呉 呉春《武陵桃源図屏風》(左隻部分)6曲1双 江戸時代(18世紀) 大倉集古館蔵

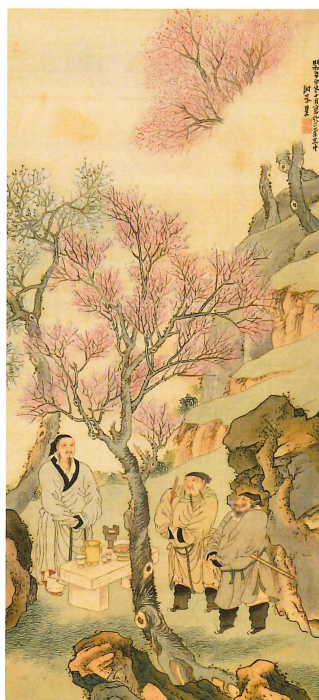


呉 呉春《桃園結義図》1幅 江戸時代(18世紀) 逸翁美術館蔵
展示期間:10月16日～11月17日

第一章 呉春《武陵桃源図屏風》—蕪村へのオマージュ—

蕪村

桃源の路地の細さよ冬ごもり



蕪 与謝蕪村《桃林結義図》一幅 江戸・明和8年(1771) 岡田美術館蔵
展示期間:9月12日～10月14日



蕪 与謝蕪村《武陵桃源図》(左幅)双幅 江戸・安永10年(1781) 個人蔵



桃源郷を
夢みた師弟の
絆の物語

蕪 呉

与謝蕪村・呉春《陶淵明画讃》1幅 江戸・天明4年(1784) 逸翁美術館蔵



蕪 与謝蕪村《春夜桃李園図》1幅 江戸・天明2年(1782) 個人蔵
展示期間:10月16日～11月17日

第二章 桃の意味するもの —不老長寿・吉祥—



沈南蘋《鶴桃図》1幅 清時代(18世紀) 個人蔵
展示期間:10月16日～11月17日



《藍釉粉彩桃樹文瓶》 景德鎮窯 1口 清乾隆年間(18世紀) 静嘉堂文庫美術館蔵

中国美術にあらわされた
桃のモチーフ

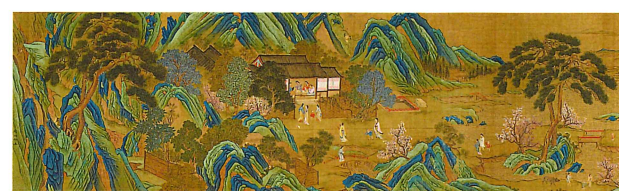


《青花黄彩桃文皿》 景德鎮窯 1枚(2枚のうち) 清乾隆年間(18世紀) 東京国立博物館蔵
Image:TNM Image Archive

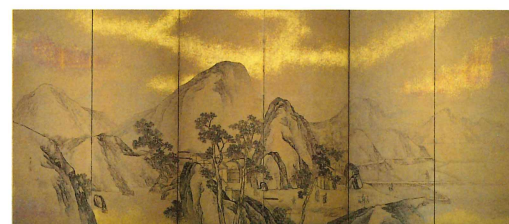


《山水人物堆朱桃形合子》 1口 明嘉靖年間(16世紀) 東京国立博物館蔵
Image:TNM Image Archive

第三章 「武陵桃源図」の展開 —中国から日本へ—



趙伯駒(款)《武陵桃源図巻》(部分)1巻 明末～清初(17世紀) 林原美術館蔵



河村文鳳《武陵桃源図屏風》(左隻)6曲1双 江戸時代(18世紀) 静岡県立美術館蔵

中国画から、
南画、四条派まで

大倉集古館名品展を同時開催 [1F展示室]

*桃源郷展入場券にて
ご覧いただけます

国宝・重要文化財から横山大観「夜桜」まで、当館選りすぐりの名品の数々との再会をお楽しみください！



横山大観《夜桜》(左隻)6曲1双 昭和4年(1929)



重要美術品 宗達派《扇面流図屏風》(左隻)6曲1双 江戸時代(17世紀) 展示期間:9月12日～10月14日



国宝 《古今和歌集序》(部分)1巻 平安時代(12世紀) 展示期間:9月12日～10月14日



重要文化財 尾形光琳/乾山 合作 《鏤絵寿老図六角皿》1枚 江戸時代(18世紀) 展示期間:9月12日～10月14日



国宝(普賢菩薩騎象像)1幅 平安時代(12世紀)